**アンケート・ピックアップ**

**6月2日　株式会社リンク・アイ　取締役　高嶋　大生　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　今日の講義を聞いていて、高嶋さんの仕事に対する自信が伝わってきました。まず、印象に残っているのは、「できると思ったところで成長が止まる」というお言葉です。学校でも会社でもできないことをできるようにしたり知らないことを知ろうとすることで、成長していくものだと思います。そう考えたら、人に限界なんてないんだなと思いました。

　次に、やりたいことだけを追うのではなくやれることを広げるということです。とても納得させられました。やりたいこととやれることが一致してないとはよく言いますが、だからこそ、やれる範囲でやりたいことを考えるのではなく、やりたいことをやれるように努力することが、大事なことなんだと思いました。仕事だけでなく、今後の過ごし方全体に対するモチベーションが上がりました。ありがとうございました。（教育人間・人間文化・一年）

企業も人を選び、人も企業を選ぶ『相互選択』関係の現代で、堂々とした自分の生き方に満足できるような生き方をするために必要な考え方を多く教えていただきました。自分はこういう人間だから、といって自分の道の選択肢を減らしてしまうことはもったいないことだと思った。固定観念を持つことが妨げにもなるとわかった。（経済・国際経済・1年）

高嶋さんが高校時代の熱中話を聞いて、私でいう中学時代の事だと思い出した。何が何だか分からなくなるぐらい忙しかったけど、充実していて成長できた３年間だった。今の大学生活を客観的に比較すると、今までの２か月間は無駄のように感じた。今からでもこの２か月をとり戻すために、計画していたものを実行していきたいと思う。今の時代、「相互拘束関係」から、「相互選択関係」に移行していて自分に力がないと会社は選んでくれない。その時代の中でも会社を選択できる自分になるには、成長し続ける努力が必要だと思った。

また、高島さんの「効率的に出来ないって分かってるんだったら量をこなす！」という考えは、私に勇気をくれた。効率悪いってわかってる時点でほかに解決策がないんだったら、量を人の何倍もこなして、質に転化する努力をしていきたい。（経営学部・経営学科１年）

今日はいつもに比べて実践的な話が聞けたと思います。「選ばれる」と「選ばれない」人の二極化は、私も薄々感じていましたが、これから先努力を続けていけるか否かにかかっているので頑張っていきたいです。すべてを自分で決められると、仕事が充実して感じられるのだと気づきました。“量は質に転化する”という言葉に、やりきればきっといつか役にたつと思いました。人の成長は自分が満足して、できると思った瞬間にとまる、ことはいつも自分の実力を磨き、他の人の助けも借りながら努力を続けていくためには重要だと納得しました。ベンチャー企業で培ったスキルという何もないところからつくりあげていく経験は他の人が得ていないからこそ重要だと思うので、今はまだすべての経験を得られるわけではなさそうですが、ただ人のレールに乗っかって安心するのではなく、少し冒険を経てみたいと思います。やれることを増やした時にやりたいことをみつけるという言葉に非常に共感しました。選択肢を増やしていき、その時が来たら活かしていくことができるようになりたいです。本日の講義は非常におもしろく役に立ちました。（経営学部１年）

　僕も今高嶋さんと同じようなことを考えて生活しています。まず第一にこの大学生活を実のあるものにするために学べるものは何でも学ぼうと考えています。自分もなりたい職は？と聞かれても何を言えるわけではないけれど何か今までと違う人生を歩んでみたいと思っています。自分で選択してリスクを抱えながらも成功してみたいと思っています。そのためにはやはり選択肢を増やすために自分の固定観念を打破していくことは大事だと思っています。　また、高嶋さんの話を聞いて共感したのは現代は「企業に頼るのではなく自分に頼る時代」ということでした。企業と社員は相互選択関係になってきているということは本当にそのとおりであり、そのためにはいろんなことに挑戦して失敗していくことが必要であると思いました。（経営・経営システム・１年）

　大企業に入ることが素晴らしい、よいことだと一般的に考えられている中で高嶋さんの話はとても新鮮だった。やりたい業種などから、就職先を考えるのではなくどういう働き方をしたいかという考え方を持つことも一つの案だということを学んだ。またその企業の経営理念や、経営戦略に共感できるところがよいというのも良い基準だと思った。高嶋さんの話の中で一番心に残った言葉は、「選択肢を広げてばかりでいつ選ぶのか」という言葉だ。実際、私も昔からやりたいことがあまりなくつぶしが利くような選択ばかりしてきたと思う。このまま何年か経つと就活できなくなりそうで怖いと思った。興味のあるものを見つけていきたいと感じた。（経営学部経営システム学科1年）

　はじめは、私の中にも「大企業＝安定、ベンチャー＝リスキー」という考えがあり、疑いがありませんでした。今回の講演を聞いてもその考えが覆るまではいきませんでしたが、どちらの方が、後々選択肢が増えるのか、そして潰しが利くのかということを改めさせられました。やりたいことをやれるようになるまであきらめない、量をこなすことで質に変わっていく、その信念を貫いたからの成功、その成功があったからこその自身選択肢の多さにつながるのだと思います。ベンチャーで働くことで、「肩書きのない状態で勝負する」また「自分がすべて決める」、「ゼロから作り上げるという経験」、「選択する人生」を歩むことが自身の成長につながるのだということを学びました。（経営学部経営学科1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　今回の講義の中で、本当にやりたいことが大切なのか、という話でやりたいことにとらわれすぎないことが大切だということを聞き、初めて自分のやりたいことが自分にとって、社会にとって大切なのかを考えました。また、そのやりたいことをするための選択の時が来た時に選択し、そこから逃げずに成功するまで粘ろうと思います。（教育人間・人間文化１年）

　僕自身は、推薦入試でここに入ったものの、正直学力は本当に周りの足元に及ばない。だから、今回の話を聞いて、人と違うことをするというところから実践して、努力を積んでいきたいと思う。　また、大企業の友達から聞いたという話の中に「０から作り上げたということがない」ということがあったが、自分はどこにいても自分という存在の意味を見いだせる人間になりたい。自分に自信を持てるような経験を積んでいきたい。（経営・経営・１年）

就職したての人がやりたいことではないからと言って、自分ができていないことから逃げているという指摘は、少し分からないからといっておもしろくないと逃げている自分にもあてはまったので自らの考えを改める。（経営・経営・１年）

「大学生活って自由だけど燃えていない」という言葉にすごく納得してしまいました。自由な時間は高校生の時よりも増えたはずです。好きなことが思いっきりできる、ずっとそう思っていたはずの大学生活だったのですが、事実何もしていないのだなと感じました。やれることを増やすこと。大学生活の中でたくさん増やしていこうと思いました。私は将来やりたいことはあるのですが、このままだと一生やりたいことだけ大きくなってやれることと交わることがなくなってしまうのだなと思いました。大学時代、せっかく時間があるのだから、興味のあることにたくさん挑戦していきたいです。（経営・会計情報・１年）

**授業スタッフの感想１**

今回の感想を読んで、いままでより一層就活のときの自分像を意識した人が多いのではないかと感じた。高嶋氏の本業であるコンサルティングが非常に関連しているのもあるのだが、現在の就職事情を採用する側からの視点での詳しい話が聞けたからではないか。自分もまた、高嶋氏の経験談と自分の経験や考えと照らし合わせ、将来の自分はどのようになっているべきかという思いを巡らせながら講義を聞いていた。

　また、全体的に今回の講義は今までの中で最高評価ではなかったかと思う。それはなぜか。おそらく、高嶋氏の話術とプレゼンの進め方ではないか。最初にじゃんけんという「実体験」から始まり、ところどころに学生の頭に刺さるようなキーワードを使うことで興味を引き付けていた。そして、学生が新鮮に感じる感覚と共感できる感覚を交互に織り交ぜて話を進めることで、飽きさせないようにしていたと思う。

　この授業では、リーダーシップだけでなく、毎回来てくださる企業の方のプレゼンの仕方についても注目することでまた新たな発見が得られるのではないかと感じた。これからもいろいろなところから学び取っていき、授業を無駄に過ごさないようにしたい。

**授業スタッフの感想２**

今回は今までと少し違ったお話をしていただきました。固定観念の怖さを思い知り、自分が今までいかに固定観念に縛られた生活を送っていたのか、振り返ってみてとても恐ろしかったです。固定観念により、説明が不十分になり齟齬をきたすことが多々あるので、相手の状況を考えて人に説明したいです。また、「量は質に転化する」という言葉について、私はどちらかというと質を優先するタイプでありながらも量をこなしていたので、効率が悪いのかと思っていましたが、そうではないと知ることが出来てとてもよかったです。就職するまでに様々な選択が待ち受けていると思いますが、自分よりも少し高く届かないくらいの選択をし、常にモチベーションを高く保って挑戦・成長していきたいです。